

第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～

三重県実行委員会 第5回総会

議案書（案）

書面開催

< 目 次 >

○議案事項

第1号議案

令和7年度事業報告及び収支決算（案） . . . 1

第2号議案

財産処分について . . . 14

第3号議案

第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会の解散について . . . 16

○報告事項

. . . 18

令和7年度収支予算（補正第2号）

令和7年度収支予算（補正第3号）

第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～ 実績報告書【別添】

○第1号議案

令和7年度事業報告及び収支決算（案）

令和7年度事業報告及び収支決算（案）

1 令和7年度 事業報告

I. 実行委員会運営事業

1. 総会

- 第4回総会
日時：令和7年10月8日（水）
場所：書面開催
内容：令和7年度収支予算（補正案）

2. 幹事会

- 第4回幹事会
日：令和7年9月12日（金）
場所：書面開催
内容：第4回総会へ提出する議案の審議

II. 企画運営・広報事業（詳細は、実績報告を参照）

1. 「第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～」の開催

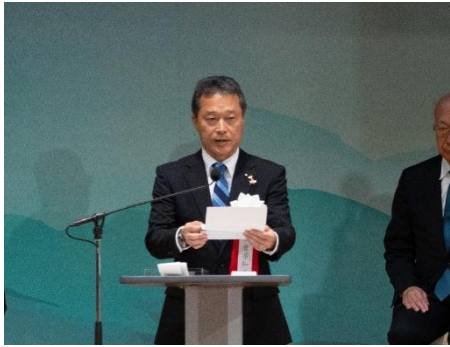
(1) 大会概要

○式典行事

- ・日程 令和7年11月9日（日）9：20～12：00
- ・場所 志摩市阿児アリーナ（志摩市）
- ・参加者 790人（県内271人、県外519人）



式典行事



主催者あいさつ



天皇陛下おことば



稚魚お手渡し



海づくりメッセージ

○海上歓迎・放流行事

- ・日程 令和7年11月9日(日) 14:31~15:14
- ・場所 宿田曾漁港(南伊勢町)
- ・参加者 334人(県内174人、県外160人)



稚魚放流



放流合図を行う児童



海上歓迎パレード



歓迎船

○関連行事

県内5会場（志摩市、南伊勢町、桑名市、津市、尾鷲市）で開催しました。

全会場において、式典行事や海上歓迎・放流行事の様子を中継し、来場者にご覧いただきました。

◆豊かな海づくりフェスタ2025 in志摩市ともやま公園

【場 所】志摩市ともやま公園 志摩市大王町波切

【主 催】第44回全国豊かな海づくり大会市民会議

【時 間】10時から15時40分

【来場者】3,500名

【概 要】海業に関する展示、海藻万華鏡作成体験、漁網リサイクル展示、次期開催府PR展示、真珠フォトフレーム作り、さかなクントークショー、よしお兄さんの海大好きステージ、マダイの刺身、ニベのフライ、海藻味噌汁のふるまい等を行いました。



◆ゆた海フェスタ in 南伊勢町奈屋浦漁港

【場 所】 奈屋浦漁港 南伊勢町奈屋浦

【主 催】 南伊勢町、第44回全国豊かな海づくり大会南伊勢町美し国みえ大会実行委員会

【時 間】 10時20分から15時30分

【来場者】 2,000名

【概 要】 ココリコ田中直樹さんと鳥羽水族館館長若井嘉人さんとのスペシャル対談、Takuya Nagabuchiライブ、翔大ミニコンサート、マダイ稚魚の同時放流、さかなのつかみ取り、おさかなぬりえ体験、マダイの刺身のふるまい等を行いました。



◆第23回赤須賀漁業まつり

【場 所】 桑名港 桑名市赤須賀

【主 催】 赤須賀漁業協同組合

【時 間】 9時から11時30分

【来場者】 1,000名

【概 要】 漁船乗船体験、ハマグリ稚貝放流、木曾川下流防災学習パネル展示、焼きハマグリやシジミの即売、焼きハマグリや海産物水産関係品即売、シジミ汁のふるまい等を行いました。



◆第20回白塚おさかな祭り

【場 所】白塚漁港 津市白塚町

【主 催】白塚漁業協同組合

【時 間】8時30分から12時30分

【来場者】2,200名

【概 要】おさかなぬりえ、缶バッジ作り体験、クルマエビ稚エビ放流、海産物水産関係品即売、伊勢湾産イワシ鮮魚等即売、いわし寿司ふるまい等を行いました。



◆第12回おわせ魚まつり

【場 所】尾鷲魚市場 尾鷲市港町

【主 催】三重県尾鷲市尾鷲港産地協議会

【時 間】9時から12時

【来場者】4,500名

【概 要】定置網漁業体験、ミニ水族館、タッチプール、魚すくい、おさかなぬりえ体験、マグロ目方当てクイズ、マグロの解体ショー、マダイ稚魚の放流、鮮魚刺身、大敷汁、地魚干物、マグロ刺身のふるまい等を行いました。



○作品コンクール（絵画・習字）優秀作品御覧

- ・実施日：令和7年11月8日（土）
- ・場所：志摩観光ホテル
- ・内容：大会行事の一環として実施した作品コンクール（絵画・習字）の優秀作品（三重県知事賞受賞作品）を天皇皇后両陛下に御覧いただき、受賞者の児童・生徒一人ひとりにお声をかけていただきました。



○漁業関係者との御懇談

- ・実施日：令和7年11月8日（土）
- ・場所：志摩観光ホテル
- ・内容：天皇皇后両陛下と県内漁業関係者・功績団体表彰受賞者が和やかに御懇談しました。



(2) 各種行事に係る事前リハーサル

○個別リハーサル

- ・海上歓迎・放流行事 令和7年9月20日(土)
- ・式典行事 令和7年10月5日(日)

○前日総合リハーサル 令和7年11月8日(土)

(3) 大会実施本部の設置

- ・設置時期 令和7年5月20日(火)
- ・構成員 三重県職員、開催市町職員等

区分	11月8日	11月9日	延べ
三重県	744人	886人	1,630人
志摩市	35人	35人	70人
南伊勢町	28人	28人	56人
三重県漁業協同組合連合会	10人	10人	20人
東日本信用漁業協同組合連合会 三重支店	3人	3人	6人
三重県漁業共済組合	2人	2人	4人
三重県JF共済推進本部	2人	2人	4人
日本漁船保険組合 三重県支所	2人	2人	4人
全国漁業信用基金協会 三重支所	1人	1人	2人
合計	827人	969人	1,796人

2. 気運醸成

(1) 作品コンクールの実施(作文・絵画・習字)

県内の小・中・高校生を対象とした作品コンクールを実施しました。

- ・募集期間 令和7年4月1日(火)～6月6日(金)
- ・応募実績 作文：204点、絵画：1,614点、習字：2,264点

(2) 豊かな海づくりフェスタ

大会本番に向けた放流等のリハーサルや、大会の周知、開催までの気運醸成を図るため、豊かな海づくりフェスタを開催しました。

■日時 令和7年5月31日(土) 10:30～15:30

■場所 宿田曾卸売市場(南伊勢町宿浦)

■内容 記念放流、なぶら太鼓による演奏、子ども神輿、餅まき、マグロ刺身ふるまい、大会ナビゲーターの紹介とスペシャルトークショー、神戸高等学校による吹奏楽演奏、三重高等学校ダンス部によるパフォーマンス、模擬セリ体験等を行いました。

■来場者 約4,000名



(3) リレー放流

大会開催に向けた気運醸成を図るとともに「つくり育てる漁業」の重要性を啓発する取り組みとして、県内市町や水産関係団体等と連携して各地の沿岸や河川において稚魚の放流をリレー形式で実施しました。令和6年・令和7年の2年間で、52回、1,813名が参加して、魚類9種、甲殻類2種、貝類4種、2,450,011尾を放流しました。

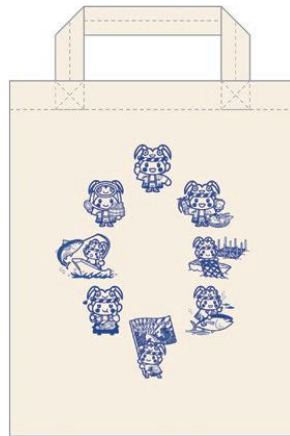
令和7年度リレー放流

No.	実施日	市町村	放流場所	参加学校・団体等	参加人数	放流魚種	放流数	学習の内容等について
37	4月 1日	大紀町	大内山川	大紀町地元学童児童	37	アユ	67,800	アユについて
38	4月15日	大紀町	錦漁港	大紀町立大紀小学校	16	カサゴ	15,000	①カサゴについて ②地元水産業について
39	5月13日	津市	雲出川支川八手俣川	津市立美杉小学校	8	アユ	4,500	①アユについて ②河川環境の保全について
40	5月21日	尾鷲市	天満浦	尾鷲市立宮之上小学校	18	ヒラメ	1,500	①ヒラメの栽培漁業について ②マハタ養殖について
41	5月27日	鳥羽市	沖ノ島海岸	鳥羽市立菅島小学校	21	ヒラメ	1,000	①ヒラメについて ②地元水産業について
42	5月29日	四日市市	磯津地区海岸	四日市市立磯津保育園	15	ヒラメ	10,000	①ヒラメについて ②地元水産業について
43	6月 4日	南伊勢町	五ヶ所港	南伊勢町立南勢小学校	30	カサゴ マダイ	1,750 250	カサゴ・ヒラメの標識放流体験
44	6月 6日	松阪市	榎田川支川蓮川	松阪市立香肌小学校 松阪市立宮前小学校 日本釣振興会三重支部	30	アマゴ	8,000	①アマゴについて ②アマゴ釣り体験学習
45	6月10日	鳥羽市	答志魚市場	鳥羽市立答志保育所 鳥羽市立答志小学校	49	ヒラメ	11,000	①ヒラメについて ②地元水産業について
46	5月31日	南伊勢町	宿田曾漁港	豊かな海づくりフェスタ来場者	200	マダイ	1,000	
47	6月15日	志摩市	浜島港	志摩の豊かな海づくりフェスタ来場者	300	ヒラメ マダイ	1,000 1,000	
48	6月19日	熊野市	遊木漁港	熊野市立新鹿小学校 熊野市立新鹿中学校	38	トラフグ	5,000	①トラフグについて ②栽培漁業について
49	6月25日	津市	白塚漁港近辺海岸	津市立白塚小学校	80	マダイ	1,500	マダイについて
50	6月26日	南伊勢町	吉津港	南伊勢町立南島東小学校 南伊勢町立南島西小学校	20	カサゴ マダイ	1,750 250	①地元水産業について ②カサゴ・ヒラメの標識放流体験
51	7月 5日	志摩市	安乗 浦の浜	志摩市立安乗保育所 私立えがお保育園 志摩市立東海小学校等	30	トラフグ	5,000	①トラフグについて ②資源管理について
52	7月 8日	紀北町	長島港	紀北町立紀北中学校 紀北町立赤羽中学校	30	マダイ	1,000	イワガキ養殖について



3. 各種広報

- (1) 大会テーマ、ロゴマーク及びキャラクター等を活用したPR
大会ロゴマーク等を使用したPRグッズの製作・配布、公式ポスターをはじめとする各種広告物を製作・設置するなど、広報活動を展開しました。
- (2) 多様なメディアを活用した情報発信
各報道機関への情報提供や県政情報番組（テレビ、ラジオ）、公式HP等を活用し、大会に関する情報を発信しました。
- (3) 印刷物、屋外広告物による広報
大会のポスター・チラシの作成・駅の装飾等による広報活動を展開しました。



4. 企業・団体からの協賛

大会の成功に向けて、基本理念に賛同する企業等から協賛金（物品含む）を募集しました。

協賛金（物品含む）

- ・期間 令和7年5月12日～令和7年9月末まで
- ・用途 広報PR活動、招待者配布物、関連行事の内容の充実など
- ・実績 41団体、26,323,920円相当

Ⅲ. 事務局運営事業

- (1) 第44回全国豊かな海づくり大会三重県実施本部の設置
大会の実施本部を設置し、大会運営、及び招待客へのおもてなしの充実を行いました。

実施本部体制図



スタッフジャンパー（前）



スタッフジャンパー（後）

1 令和7年度 収支決算（案）

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

項目	補正後予算 (①)	決算 (②)	予算額と決算額の比較 (①-②)	摘要
1 負担金	473,719,000	470,354,036	3,364,964	補正後予算 (①) は、補正第3号により40,000千円減額した額
2 繰越金	5,089,870	5,089,870	0	
3 諸収入	26,591,130	26,644,117	△52,987	預金利息
合計	505,400,000	502,088,023	3,311,977	

2. 支出の部

(単位:円)

項目	補正後予算 (①)	決算 (②)	予算額と決算額の比較 (①-②)	摘要
1 実行委員会運営費	558,000	31,850	526,150	
2 企画運営・広報費	499,726,000	498,550,667	1,175,333	
3 事務局運営費	5,116,000	3,505,506	1,610,494	
合計	505,400,000	502,088,023	3,311,977	

収入決算額 (A) 502,088,023 円

支出決算額 (B) 502,088,023 円

収支差引額 (A - B) 0 円 (残余金)

監査報告書


第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会
会長 一見 勝之 様

第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会会則第16条及び同事務局財務会計規程第14条第2項の規定に基づき、令和7年度収支に関する証拠書類及び諸帳簿等について監査した結果、決算にかかる計数が適正に処理されていることを認め、報告します。


令和8年3月5日

第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会

代表監事

仲 越哉 

監事

天野 幸子 

○第2号議案
財産処分について

財産の処分について

第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会の解散に伴い、次のとおり財産を開催市町である志摩市及び南伊勢町並びに三重県に譲渡します。

物品名	譲渡先
懸垂幕 (W900mm × H9,000mm)	志摩市
横断幕 (W10,000mm × H1,000mm)	志摩市
懸垂幕 (W900mm × H9,000mm)	南伊勢町
横断幕 (W500mm × H7,400mm)	南伊勢町
横断幕 (W6,000mm × H900mm)	志摩市
懸垂幕 (W1,000mm × H10,000mm)	志摩市
横断幕 (W10,400mm × H900mm)	志摩市
お手渡し容器 (尾鷲わっぱ、伊勢型紙、松阪木綿)	志摩市
お手渡し容器 (伊賀くみひも、伊勢の根付け、四日市萬古焼)	志摩市
お手渡し容器 (尾鷲わっぱ、伊勢型紙、松阪木綿)	南伊勢町
お手渡し容器 (伊賀くみひも、伊勢の根付け、四日市萬古焼)	南伊勢町
お手渡し容器 (尾鷲わっぱ、伊勢型紙、松阪木綿)	三重県
お手渡し容器 (尾鷲わっぱ、伊勢型紙、松阪木綿)	三重県
お手渡し容器 (伊賀くみひも、伊勢の根付け、四日市萬古焼)	三重県
第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会会長之印	三重県
第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会事務局長之印	三重県
お手渡し容器展示用アクリルケース	三重県
缶バッジメーカー (57mm)	三重県
水槽用クーラー (ZC-200α)	三重県
水槽用クーラー (ZC-100α)	三重県

○第3号議案

第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会の解散について

第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会の解散について

第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会会則（以下「会則」という。）第18条第1項に基づき、次のとおり本実行委員会を解散する。

1 解散の理由

第44回全国豊かな海づくり大会の開催およびその他必要な事業等が終了し、会則第2条の本実行委員会の目的が達成されたため。

2 解散年月日

令和8年3月31日（火）

3 残余財産の処分

会則第18条第2項に基づき、本実行委員会が解散するときに有する残余財産は、三重県に帰属するものとする。

【残余財産】

- ・ 物品
- ・ 著作物にかかる権利等

4 解散後の対応

本実行委員会にかかる解散後の問合せ等については、三重県農林水産部水産資源管理課が対応する。

参考：第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会会則（抜粋）

（目的）

第2条 実行委員会は、第44回全国豊かな海づくり大会（以下「大会」という。）を開催するため、必要な事業を行うことを目的とする。

（事業）

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 大会の開催に必要な企画及び運営に関する事業。
- (2) 関係機関及び団体との連絡調整等に関する事業。
- (3) その他目的を達成するために必要な事業に関する事業。

（解散）

第18条 実行委員会は、第2条の目的が達成され事業報告及び決算について議決を受けた後に解散する。

- 2 実行委員会が解散するときに有する残余財産は、三重県に帰属するものとする。

○報告事項

令和7年度収支予算（補正第2号）

令和7年度収支予算（補正第3号）

第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～
実績報告書

令和7年度 収支予算（補正第2号及び第3号）について

令和7年度収支予算について、前回補正額（21,000千円）を上回った企業等からの協賛金を大会開催のために使用する必要があったこと、及び三重県からの負担金について、三重県の最終補正予算見積書提出期限までに、事業費を精査しておく必要があったことから、実行委員会会則第9条第1項により補正予算にかかる専決処分を行った。

参考：第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会会則（抜粋）

第3章 会議

（総会）

第8条 実行委員会の会議（以下「総会」という。）は、会長、副会長及び委員（以下「実行委員」という。）並びに、代表監事、監事、顧問及び参与をもって構成する。

2 総会は、必要に応じて会長が招集し、その議長は会長又は会長が指名した者がこれにあたる。

3 総会は、次に掲げる事項を審議し、決定する。

- (1) 会則の制定及び改廃に関すること。
- (2) 大会の企画及び運営に関する基本事項に関すること。
- (3) 事業計画及び事業報告に関すること。
- (4) 予算及び決算に関すること。
- (5) 幹事会に委任する事項に関すること。
- (6) その他大会の開催に関する重要な事項に関すること。

4 総会は、実行委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

5 実行委員は、事故その他のやむを得ない理由により総会に出席できないときは、代理人又は書面をもって議決権を委任することができる。この場合において、前項の規定の適用については、出席したものとみなす。

6 総会の議事は、出席した実行委員（代理人及び書面を含む。）の議決権の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7 会長は、必要があると認めるときは、事前に送付した議案に対し書面をもって表決し、総会の議決に代えることができる。

8 会長は、必要があると認めるときは、総会に委員等以外の者の出席を求めることができる。

（会長の専決処分）

第9条 会長は緊急を要するため総会を招集する時間的余裕がないと認めるときは、前条第3項各号に掲げる事項を専決処分することができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、次の総会においてこれを報告し、その承認を求めなければならない。

1 令和7年度 収支予算（補正第2号）

※専決年月日：令和7年10月16日

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

項目	補正（第1号）後 予算①	要補正②	補正（第2号）後 予算 （①+②）	補正理由
1 負担金	513,719,000	0	513,719,000	
2 繰越金	5,089,870	0	5,089,870	
3 諸収入	22,191,130	4,400,000	26,591,130	協賛金収入
合計	541,000,000	4,400,000	545,400,000	

2. 支出の部

(単位:円)

項目	補正（第1号）後 予算①	要補正②	補正（第2号）後 予算 （①+②）	補正理由
1 実行委員会 運営費	558,000	0	558,000	
2 企画運営・ 広報費	535,326,000	4,400,000	539,726,000	広報PR、気運醸成、 関連行事の充実等
3 事務局運営費	5,116,000	0	5,116,000	
合計	541,000,000	4,400,000	545,400,000	

【補正理由】

企業等からの協賛について、前回補正額（21,000千円）を上回る協賛があったため、今回補正するものです。

1 令和7年度 収支予算（補正第3号）

※専決年月日：令和8年1月13日

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

項目	補正（第2号）後 予算①	要補正②	補正（第3号）後 予算 （①+②）	補正理由
1 負担金	513,719,000	△40,000,000	473,719,000	事業費の精算による 負担金の減額
2 繰越金	5,089,870	0	5,089,870	
3 諸収入	26,591,130		26,591,130	
合計	545,400,000	△40,000,000	505,400,000	

2. 支出の部

(単位:円)

項目	補正（第2号）後 予算①	要補正②	補正（第3号）後 予算 （①+②）	補正理由
1 実行委員会 運営費	558,000	0	558,000	
2 企画運営・ 広報費	539,726,000	△40,000,000	499,726,000	
3 事務局運営費	5,116,000	0	5,116,000	
合計	545,400,000	△40,000,000	505,400,000	

【補正理由】

三重県からの負担金について、事業費の精算による負担金の減額があったため補正するものです。主な減額理由は以下のとおり。

- ・企業等からの協賛金による諸収入の増
- ・歓迎レセプションが中止となり、漁業者との御懇談へ変更となったことに伴う大幅な経費削減
- ・おもてなし会場での配布物品、大会記念弁当で使用する食材の提供やさまざまな節減の積み重ねによる経費の抑制